

## すがわら文仁



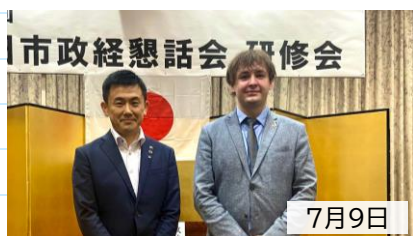
## 市長最新ニュース

コロナ禍のフェーズも変化しつつある中、市内ではコロナ禍前のようなイベントや行事が戻りつつあります。市長としての活動報告の一端をお伝えします。



## 荒川左岸水害予防演習

3年ぶりの訓練を実施してヘリコプターによる上空視察を行いました。



## 戸田市政経懇話会研修会

ウクライナ人政治評論家ナザレンコ・アンドリー氏を講師に研修会を実施。



## 職員採用合同説明会

優秀な人材確保に向けて説明会で市長トップセールス。



## 埼玉県健康長寿優秀市表彰

戸田市の健康長寿の取り組みが評価され知事より表彰されました。



## 社会を明るくする運動

非行防止や罪を償った方々の社会復帰と再犯防止を訴えました。



## 子ども会リーダー研修会開校式

未来を担う5年生の戸田っ子たちを激励しました。



## 抗原検査キット無料配布開始

市独自に抗原検査キット6,000個を無料配布し、濃厚接触者を支援。



## 秋の交通安全運動出発式

横断歩道の歩行者優先とハンドサイン徹底を呼びかけました。



## 市政座談会

市政座談会(全5回)にて町会長の皆様と意見交換しました。



## 公平病院との協定締結

美笹地区においてオンライン診療車を活用した実証実験を開始します。



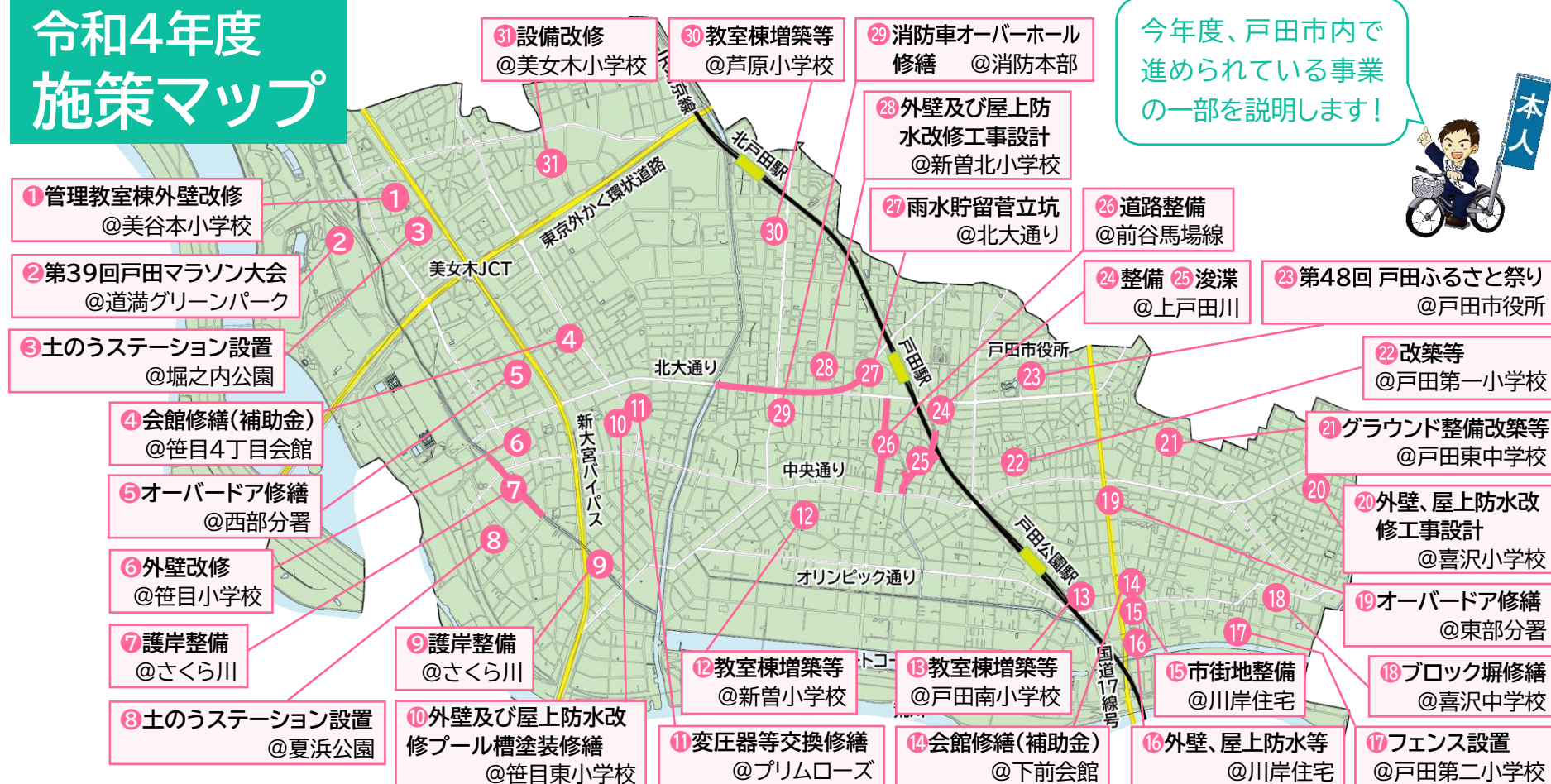
## 第48回戸田ふるさと祭り

宇賀神友弥選手と長谷川唯選手が「とだPR大使」に就任。



## 戸田市推奨ごみ袋贈呈式

日本サニパック様より花火・市花デザインごみ袋2万4千枚を寄贈。

令和4年度  
施策マップ



# 公約実行、命とくらしを守る。



新型コロナの感染が世界に広がってから、早くも3年目の秋です。市民の皆様には日頃の感染対策へのご協力に感謝を申し上げます。また、医療機関はじめエッセンシャルワーカーの皆様には心から敬意を表します。

さて、2月24日から始まったロシアによるウクライナへの侵略は世界の安全保障環境を大きく揺るがしました。原油高騰とインフレの波は我が国にも影響を及ぼし、原油や物価の高騰を引き起こしています。

総務省が発表した消費者物価指数を見ても、4月以降毎月、前年同月に比べて2%を超えて上昇しています。食料品や日用品など生活必需品の相次ぐ値上げは家計を圧迫しています。

一方で、物価変動を反映した実質賃金は増加せず、賃金の伸びが物価に追いついておりません。急激な円安の加速により、日本の1人あ

たりの国内総生産は、韓国に逆転されるとの試算もあり、日本の「稼ぐ力」が弱くなりつつあります。

今一度、日本が世界をリードするには、給与をしっかりと底上げし、政府一丸となって少子化対策に取り組むと共に、躊躇なく人材への投資を行い、若い世代が将来へ希望を持てる国づくり、地域づくりが必要です。

このような状況を鑑み、戸田市では、喫緊の課題である物価上昇に対して「戸田市原油価格・物価高騰対応緊急支援パッケージ」を打ち出しました。

まず、市独自の対策として、事業者を含めたすべての利用者の水道・下水道料金の「基本料金を4か月間免除」(7月請求分から)や「キャッシュレス決済ポイント30%還元事業」(10月実施)という、即効性のある経済政策を実施してまいります。(中面参照)

さらに、国の事業である「低所得のひとり親世帯に対する一律5万円の給付金」(5月27日、県内最速)や、「住民税非課税世帯への10万円の臨時特別給付金」(6月20日)をいち早く実施するなど、原油価格・物価高騰で影響を受ける世帯の生活支援を行ってまいります。

今後も引き続き機動的なコロナ対策と物価高騰対策を推進するとともに、先の市長選挙に掲げた市長公約「9つの挑戦」を着実に実現し、市民の命とくらしを守る市政運営に全力を尽くしてまいります。

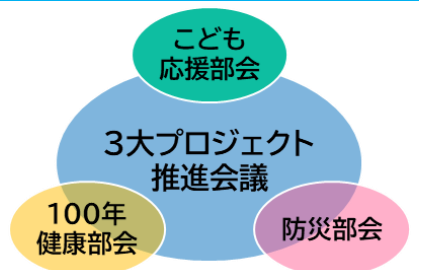
戸田市長 菅原 文仁

## 戸田から日本を変える！ 「3大プロジェクト」

子ども支援・健康長寿・防災対策というコロナ禍で浮き彫りとなった社会課題に立ち向かうため、戸田から日本のモデルとなるようなプロジェクトを立ち上げ、大きなムーブメントを巻き起こします。

### 「3大プロジェクト」の推進会議の設置

3大プロジェクトを着実に推進するためには、これまで以上に担当の部局間が連携する必要があります。そのため、市の最上位計画である第5次総合振興計画の策定委員会のもとに「3大プロジェクト推進会議」を立ち上げることといたしました。この推進会議では、プロジェクト毎に部会を組織し、プロジェクトリーダーを据えてプロジェクトを強力に推進します。



### こども応援プロジェクト

社会的孤立や困窮、コロナ禍によって生きる力を育む機会を得られない子どもが増える中、置かれた境遇に関わらず、未来を担う「戸田っ子」を地域全体で応援して人生の選択肢を広げていきます。

### 100年健康プロジェクト

若者からお年寄りまで、運動や食生活改善等の健康づくりを促し、仕事や地域活動等「社会とのつながり」を応援し、人生100年時代を楽しく豊かに過ごせる地域をつくります。

### 防災プロジェクト

気候変動により激甚災害が頻発する中、災害から市民の命と暮らしを守るため市の総力を挙げて総合的な防災対策を講じ、市民による防災行動の定着によって地域の防災力を高めます。

## 戸田市が「SDGs未来都市」に選定！！



戸田市が提案するSDGsの取り組みが認められ、内閣府から「SDGs未来都市」に選定されました。(令和4年全国30都市)

埼玉県内では、春日部市、さいたま市に次いで3自治体目(入間市も同時選定)であり、戸田市が取り組んでいる「総合振興計画」や「SDGs共創基金」等の取り組みが評価されました。

今回の選定自治体の名に恥じぬよう、持続可能な未来共創のまちづくりを進めて参ります。

### すがわら文仁公式SNS



レポート96号発行 菅原文仁後援会  
〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F  
TEL/FAX 048-432-3585  
HP sugawarafumihito.com  
Email mail@sugawarafumihito.com

【略歴】昭和50年7月30日生まれ ■美谷本小・美笹中・伊奈学園総合高校卒業  
■日本体育大学卒業(教員免許) ■会社設立・経営(6年) ■明治大学大学院修了(公共政策)  
■戸田市議会議員(2期6年) ■埼玉県議会議員(2期7年) ■第4代 戸田市長(2018年~現在)  
■戸田競艇企業団企業長 ■蕨戸田衛生センター副管理者 ■(公財)戸田市国際交流協会理事長  
■埼玉県ボート協会会長 ■埼玉県体操協会副会長 ■東京経営短期大学客員教授

【趣味】読書・道満ジョギング  
【家族】両親・妻・娘・息子の6人  
【座右の銘】上杉鷹山翁の「なせば成る、なせば成らぬ、何事も」

【発行】2022年10月 討議資料



# 令和4年度 戸田市が実施する



市長公約である「3大プロジェクト」(子ども応援、100年健康、防災)と「9つの挑戦」(81項目)を着実に推進し、新型コロナ克服への道筋をつけてまいります。

また、新たな危機となった原油価格・物価高騰への迅速な対応など、喫緊の課題にもスピード感をもって対応します。

さらに、行政や教育のデジタル化、カーボンニュートラルへの積極的な対応などSDGs(持続可能な開発目標)の達成も重要です。

これらの未来に向けた投資を進めることによって暮らしの安心、未来への希望、そして、持続可能なまちづくりを市民の皆様とともに進めてまいります。

## 今年度の戦略的 重点事項



### ポストコロナ社会への対応

～感染症への不断の対策と社会変化への対応～

オミクロン株の急速な感染拡大を踏まえ、3回目、4回目のワクチン接種を急ぐなど、スピード感を持って取り組むとともに、コロナ収束後を見据えた施策も展開し、揺るぎない安心・安全の市政運営を実施します。



### DX※デジタル・トランスフォーメーションの推進

～人にやさしいデジタル化～

必要とされながらも、なかなか進まなかった行政のデジタル化をしっかりと推進し、豊かでクオリティの高い市民サービスを提供するとともに、紙文化から脱却した新しい時代のワークスタイルを確立してまいります。



### SDGs※持続可能な開発目標の推進

～誰一人取り残されない社会の実現～

本市の最上位計画「第5次総合振興計画」の推進にあたって、欠かすことのできないSDGsを意識した事業に力を入れてまいります。なかでも環境政策を重点的に推進し、脱炭素社会に貢献してまいります。

## 戸田市 原油価格・物価高騰対応 緊急支援パッケージ



### 上下水道基本料4カ月免除(5-8月実施)

…3億6,669万3千円  
市民・事業者への支援として、全利用者の水道・下水道基本料金の4ヶ月分を免除します。



### キャッシュレスポイント還元(10月実施)

…1億2,168万6千円  
市内消費の活性化、事業者・市民への支援として、令和4年10月中にPayPay 30%還元を行います。



### 市内バス・タクシー事業者給付金

…1,250万円  
地域公共交通の事業者に対して、バス1台10万円、タクシー1台5万円支援して公共交通を維持します。

子育て  
応援

### こども医療費等の「窓口無料化」県全域に拡大!

▶▶▶▶ 4594万1千円



これまで、市外の病院のこども医療費の支払いは、窓口で全額支払い、後日申請・返金する「償還払い」でした。今年度から、支払いや手続きが必要ない窓口無料化を県内全域に拡大します。

### 保育所等における医療的ケア児への支援

保育所  
充実

▶▶▶▶ 391万7千円

看護師のいない保育所では、医療的ケア児※の受入れが困難です。今年度から、訪問看護ステーションの看護師を派遣し、保育所での医療的ケア児の受け入れを支援します。

※医療的ケア児:人工呼吸器や喀痰吸引、その他の医療行為など、恒常的な医療的ケアが必要な児童



学習の  
質向上

### 小学校の施設整備

▶▶▶▶ 45億3796万2千円(令和4年度)

学級数増加や長寿命化を図るため、小学校の改修を実施します。



○戸田第一小:老朽化 ▶▶ 校舎改築(総額34億2210万円、令和6年度完成予定)  
○新曽小:教室不足 ▶▶ 校舎増築(総額30億6570万円、令和7年度完成予定)



戸田第一小



新曽小

### 戸田型オルタナティブ・プラン(新たな居場所)

新たな  
居場所

▶▶▶▶ 900万9千円

不登校傾向の児童生徒をサポートするプランと3つの事業を進めます。

① 新たなサポートの場「ぱれっとルーム」を拠点校に設置(3校)

児童生徒が通える新たな学校内の居場所。スクールサポーターが相談・支援やICT学習を支援します。

② 専門家による不登校対策「ぱれっとラボ」設立  
不登校対策・支援の調査・研究を進めます。

③ 社会に開かれたネットワークの構築  
「ぱれっとルーム」における学校応援団・地域との連携、「ぱれっとラボ」によるシンポジウム開催等、不登校への理解を広げます。



多子世  
帯支援

### 第3子以降の給食費、所得制限撤廃と全額補助

▶▶▶▶ 3219万6千円



多子世帯を支援するため、市内在住の第3子以降の学校給食費の所得制限を撤廃し、1/2から全額へ補助を拡充します。



# 重点政策の概要



妊産婦  
のケア

## 産後ケア事業の実施

▶▶▶▶ 1022万8千円



産後の心身の不調や育児不安、家族等から十分な援助が受けられない産婦などを対象に、助産師が居宅を訪問して育児相談や乳房ケアなどの支援を行います。

- 母親の身体的・心理的ケア及び保健指導
- 適切な授乳や乳房ケア
- 育児手技など具体的な指導及び相談

浸水の  
予測

## 戸田市3D都市モデル

▶▶▶▶ 498万8千円



都市計画GIS(地理情報システム)と航空測量成果等を活用し、本市の3D都市モデルを構築します。浸水想定データ等の水害リスク情報を重ね合わせて、防災に活用する他、市民や事業者が活用できる国土交通省のサイトを通じたオープンデータ化を進めます。

ワンストップ

## 窓口のデジタル化(手続き・申請書作成支援)

▶▶▶▶ 2097万4千円



必要となる手続きを抽出し、申請書の作成補助・受付・案内をワンストップで提供する窓口(おくやみコーナー等)や、窓口職員の聞き取りによって申請書を作成する「書かない窓口」の導入など窓口サービスのデジタル化を推進します。

## 避難行動要支援者制度のリーフレット配布

▶▶▶▶ 125万円

災害発生時、一人で避難することが困難な高齢者や障がい者等の避難支援を地域の方や近隣者へお願いする制度を推進するため、リーフレットを配布します。



安心な  
暮らし

## 環境配慮型システム等補助金

▶▶▶▶ 1350万円

市民一人ひとりの地球温暖化対策を推進するため、太陽光発電と蓄電池を同時に導入した場合に5万円を加算する補助を新たに追加します。



再エネ  
推進

有事に  
備えて

## 水害避難検討業務

▶▶▶▶ 650万1千円

令和元年の台風19号の実例、荒川氾濫による市内全域の水没リスク等を基に、専門家の知見を加え、被害想定や現実的に可能な対策を検討し、今後の防災対策や市民の避難行動の指針を策定します。



## 都市計画道路「前谷馬場線」整備事業

▶▶▶▶ 1億7302万3千円

安全で快適な通行空間の確保を図るため、戸田駅南の「前谷馬場線」の道路幅や電線類地中化に係る事業を行います。



安全  
第一

集える  
場へ

## 町会会館無線LAN整備

▶▶▶▶ 618万3千円

町会・自治会活動のデジタル化、子どもから高齢者まで集える場の創出及び地域の活性化等を目的として、全町会会館等に無線LANを設置する費用を補助します。



未来へ  
環境を

## 戸田市SDGs共創基金

▶▶▶▶ 1259万5千円

軽自動車税の1/10を財源とした「戸田市SDGs共創基金」を創設し、持続可能な開発目標SDGsの理念に基づいた、地域課題に取り組む市民活動を支援します。



通学路  
の安全

## こども通学路安全対策、美女木小ゾーン30導入

▶▶▶▶ 3946万3千円

小中学校や保育園等の通学路や通園路の安全を確保するため、車止めポールや防護柵等を設置します。また、美女木小学校周辺の生活道路において、ゾーン30(時速30kmの速度規制)の整備を行います。



## さくら川整備事業

▶▶▶▶ 3億7056万4千円

さくら川の浸水被害の軽減のため、河川の拡幅や約140mのコンクリート護岸工事、約294mのパラペット築造工事を実施します。また、さくら川に架かる橋梁18橋についても、河川断面への影響や架替えの優先順位を検討する調査や設計、工事に伴う近接家屋等の地盤変動影響調査を行います。



内水  
ゼロへ

新しい  
働き方

## 市内企業のDX推進

▶▶▶▶ 2055万5千円

将来のアフターコロナ、デジタル社会に向け、市内企業のDX(デジタル・トランスフォーメーション)推進を図ります。外部専門家の知見を活用しながら、ICTを活用した経営課題解決に取り組む市内事業者を伴走支援し、身近なロールモデル企業の輩出を目指します。



- ①DX伴走型支援事業
- ②DX推進補助金
- ③スポットコンサル事業

## おくやみコーナー設置

▶▶▶▶ 62万8千円

遺族の方に寄り添い、死亡や相続に伴う様々な手続きの負担軽減を図るため、主要な手続きをワンストップで行える「おくやみコーナー」を本庁舎内に新たに設置します。(2022年12月設置予定)



寄り添  
う窓口

命を  
守る

## 消防東部分署建替基本計画策定及び基本設計

▶▶▶▶ 1763万9千円



市民の安全を守り、地域の防災力を向上させるため、東部分署の建物の整理や配置、機能、規模等を検討する基本計画・設計を行います。

今後も市民の皆様と「正直」に向き合い、「対話」を重ねて、「全力」を貫き、一生懸命に頑張っています。

皆様のお力添えを賜りますよう、よろしくお願いいたします。

